



# 口丹地域における府立高校の在り方懇話会 ＝ 第1回懇話会 配付資料 ＝

(平成28年3月18日)

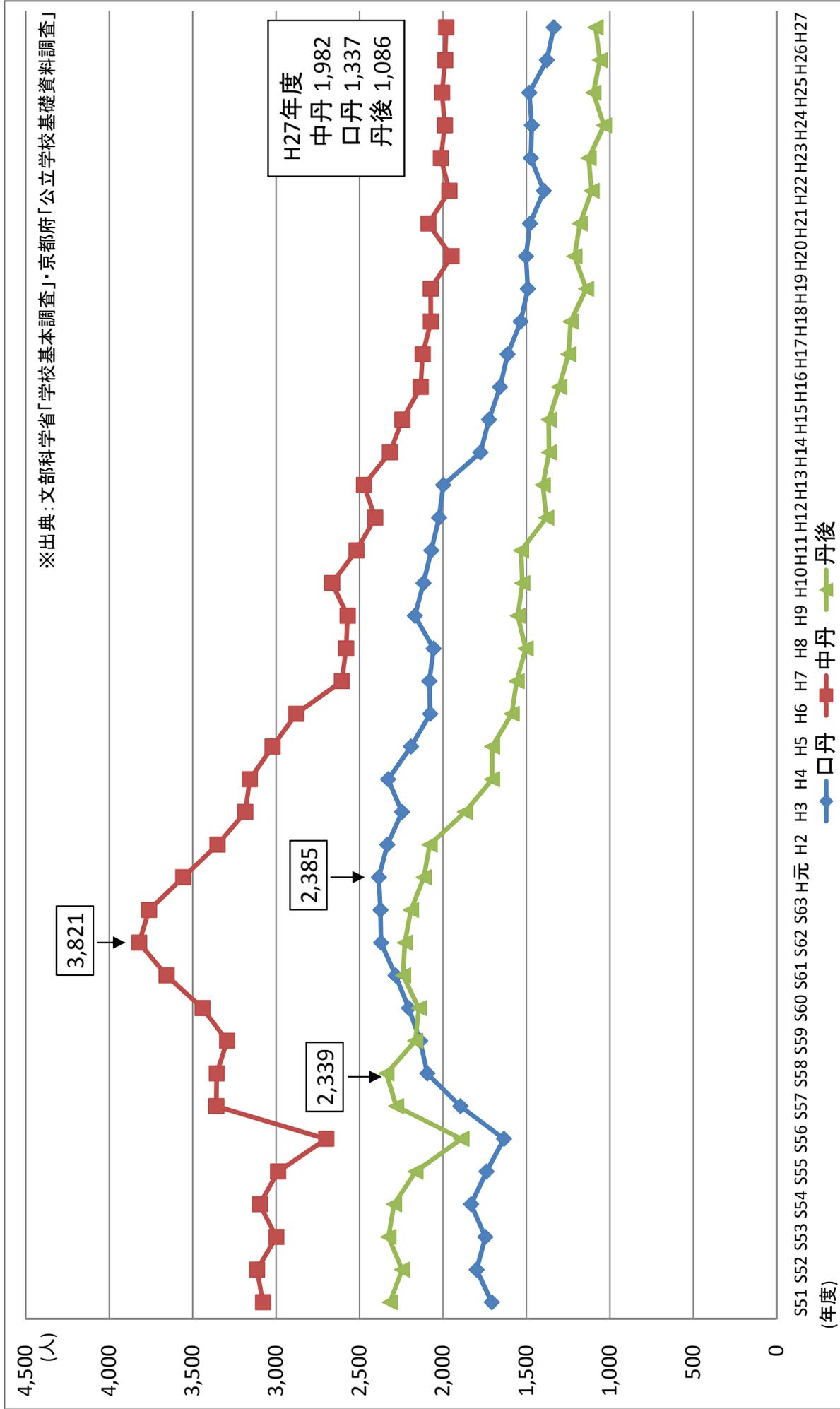
別途 配付	生徒減少期における府立高校の在り方・活性化策等の検討の経過等
----------	--------------------------------

資料 No.	名 称	頁番号
1	府内北部地域別中学校3年生数の推移	1
2	平成25年度を基準とした中学校3年生数増減率の推計	2
3	口丹地域の高校の配置状況等	3
4	口丹地域の公立中学校3年生数と府立高校(全日制)の学級規模の推計	4
5	平成27年度入学者選抜 口丹地域の府立高校入学者の状況	5
6	口丹地域における府立高校分校の状況	6
7	口丹地域の府立高校卒業生の進路実績の推移等	7
8	口丹地域の府立高校卒業生の職業別就職状況	8
9	平成27年度府立高校における部活動の状況(全日制)	9
10	口丹地域の府立高校(全日制)の部活動における主な活躍	11
11	口丹地域の府立高校における連携活動・体験活動の実施状況(概要)	12
12	学級規模による教員配置・教育環境等の相違	14
13-1	他府県の公立高校(全日制)における全国募集の事例	15
13-2	他府県の公立高校(全日制)における全国募集の詳細例	19
14	都道府県立高校の適正規模・再編整備基準等に係る調査結果	21
15	他府県の公立高校(全日制)における再編の事例	23

参考1	これまでの京都府の高校教育改革の流れ等	参1
参考2	京都府産業教育審議会提言の概要	参3
参考3	府立高校所在地図	参5
参考4	府立高校 職業に関する学科・総合学科設置状況等	参6
参考5	府内市町村立小・中学校の統廃合の状況	参8
参考6	各地域における企業産業大分類別の「従業員数」等	参10

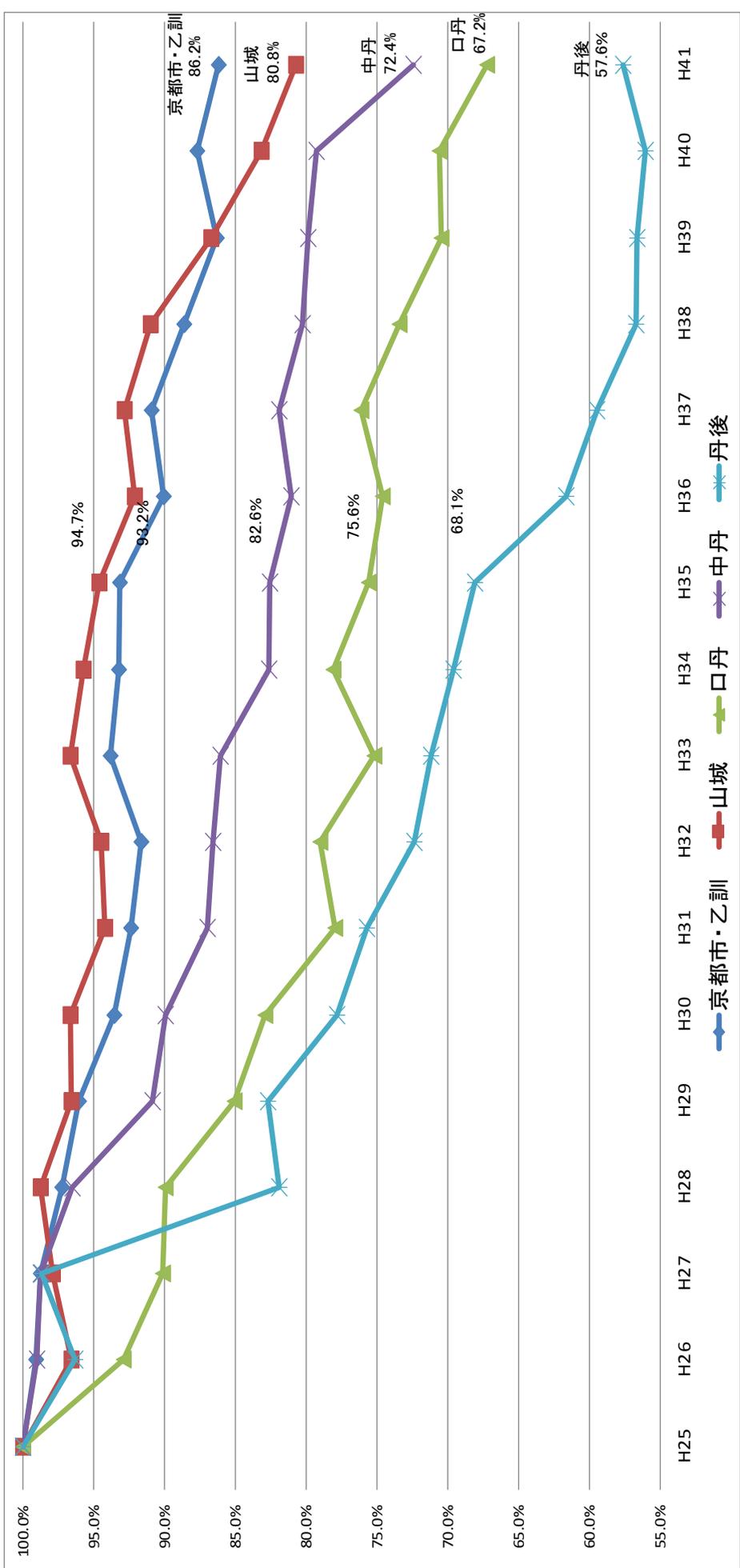


# 府内北部地域別中学校3年生数の推移 (各年度5月1日現在)



# 平成25年度を基準とした中学校3年生数増減率の推計

※平成25・26・27年度＝各年5月1日「学校基本調査」によるデータ  
 ※平成28～35年度＝平成27年5月1日「学校基本調査」による推計データ [過去3年間の学年進行率を元に推計]  
 ※平成36～41年度＝各年出生数(暦年)からの推計データ [各年出生数×現小1～6年生の(中3生時推計数/出生数)の平均率]



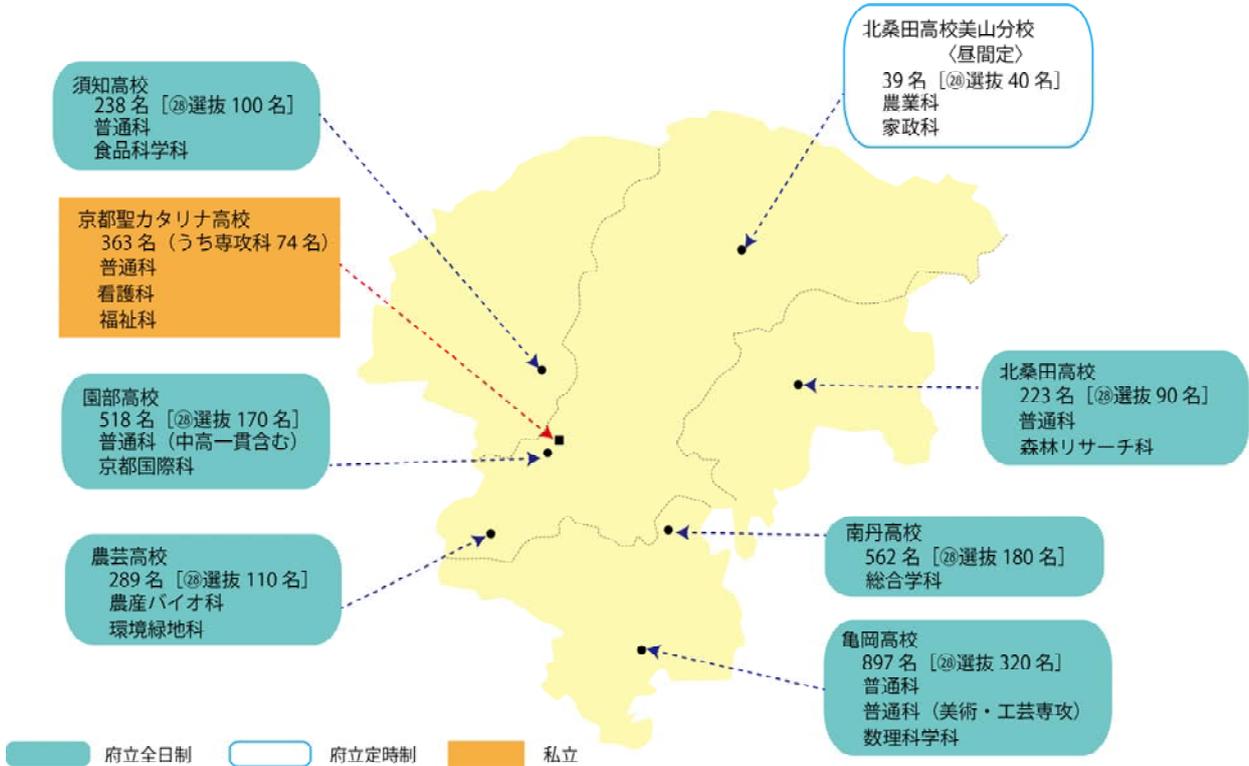
年度	H25 (H26選抜) <small>※現小1年度</small>	H26	H27 (H27選抜) <small>※現小2年度</small>	H28	H29 (H29選抜) <small>※現小3年度</small>	H30	H31 (H31選抜) <small>※現小4年度</small>	H32	H33 (H33選抜) <small>※現小5年度</small>	H34	H35 (H35選抜) <small>※現小6年度</small>	H36	H37 (H37選抜) <small>※現小7年度</small>	H38	H39 (H39選抜) <small>※現小8年度</small>	H40	H41 (H41選抜) <small>※現小9年度</small>
京都市・乙訓	14,542	14,413	14,364	14,146	13,975	13,611	13,437	13,333	13,648	13,559	13,549	13,096	13,223	12,888	12,557	12,756	12,536
山城	5,446	5,262	5,334	5,380	5,260	5,266	5,132	5,145	5,265	5,213	5,155	5,019	5,058	4,958	4,725	4,530	4,398
口丹	1,483	1,378	1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121	1,107	1,129	1,089	1,045	1,047	997
中丹	2,006	1,987	1,982	1,937	1,823	1,805	1,745	1,737	1,726	1,658	1,656	1,626	1,644	1,610	1,602	1,591	1,453
丹後	1,100	1,060	1,086	901	910	856	833	796	783	766	749	678	654	624	623	617	634
計	24,577	24,100	24,103	23,698	23,230	22,768	22,303	22,183	22,537	22,354	22,230	21,526	21,708	21,169	20,552	20,541	20,018

※旧京北町については、「口丹」に含む。

# 口丹地域の高校の配置状況等

## 口丹地域の高校の配置

※数字は平成 27 年 5 月 1 日現在の全校生徒数、[ ] 内は平成 28 年度入学者選抜募集定員



### [全日制課程]

学校名	学科	通学区域	
		通学圏等	学区
北桑田	普通科	口丹通学圏	京都市(周山中学校の通学区域に限る。) 南丹市(美山中学校の通学区域に限る。)
	森林リサーチ科	府内全域	—
亀岡	普通科	口丹通学圏	亀岡市
	普通科 (美術・工芸専攻)	京都市・乙訓通学圏 口丹通学圏 ※調整区域:山城通学圏、中丹通学圏、丹後通学圏	—
	数理科学科	府内全域	—
南丹	総合学科	亀岡市の区域 ※調整区域:京都市・乙訓通学圏、山城通学圏、 口丹通学圏(亀岡市の区域を除く)	—
園部	普通科	口丹通学圏	南丹市(他の学区に属する地域を除く。)
	普通科(中高一貫)	—	—
	京都国際科	府内全域	—
農芸	農産バイオ科 環境緑地科	府内全域	—
	須知	普通科	口丹通学圏
食品科学科		府内全域	—

### [定時制課程] (通学区域は府内全域)

学校名 (分校名)	学科
北桑田 (美山)	農業科 家政科

★口丹通学圏の高校(普通科)にあつては、当該高校の学区を除く通学区域から入学できるのは、普通科募集定員の20%以内とする。なお、前期選抜については、中丹・丹後通学圏からも志願できる。  
例) 亀岡高校の場合: 普通科募集定員240名  
…亀岡市以外から入学できるのは48名まで

## 口丹地域の公立中学校3年生数と 府立高校(全日制)の学級規模の推計

### 【学級規模の推計方法】 ※仮定による推計でありH29・H35年度に実際に募集する人数とは異なる。

平成28年度入学者選抜の公立高校の公立中3生数に対する生徒受入率を基本とし、次のとおり仮定して推計

- ①中3生数の推計は上記のとおり
- ②受入率は平成28年度選抜の地域別数値と近似値とする（大幅に変更しない）
- ③府立農芸高校については、学校の存する地域からの過去の進学実績の平均値を横置き
- ④府立園部高校の附属中学校内部進学分は横置き
- ⑤府立南丹高校の総合学科については、地域全体の平成27年度中3生数と平成28年度・34年度推計値の比率を平成28年度選抜の募集定員に乗じて積算
- ⑥その他の高校の募集定員については、普通科学区内の平成27年度中3生数と平成34年度推計値の比率を平成28年度選抜の該当校の募集定員（普通科と専門学科の計）に乗じて積算

### ■口丹地域普通科の学区別公立中学校3年生の推計

※平成27年度=5月1日基本数調査によるデータ

※平成28～35年度=平成27年5月1日基本数調査による推計データ

学校名	普通科の学区	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
		28年度選抜	29年度選抜	30年度選抜	31年度選抜	32年度選抜	33年度選抜	34年度選抜	35年度選抜	36年度選抜
北桑田	京都市右京区 (周山中学校区)	37	39	38	31	43	39	39	31	33
	南丹市 (美山中学校区)	35	24	31	23	13	32	20	17	25
亀岡	亀岡市	863	862	831	800	754	760	728	772	767
園部	南丹市 (美山中学校区除く)	283	275	255	261	244	235	234	249	209
須知	京丹波町	119	134	107	115	102	106	94	89	87
口丹地域 計		1,337	1,334	1,262	1,230	1,156	1,172	1,115	1,158	1,121

### ■口丹地域の府立高校 (全日制)の学級規模推計

学校名	年度	平成27年		平成35年	
	選抜年度	28年度選抜	36年度選抜	28年度選抜	36年度選抜
北桑田	普通科・森林リサーチ科	3 cl	90	2 cl	70
亀岡	普通科・ 普通科・	8 cl	320	7 cl	280
	普通科(美術・工芸専攻)・ 数理科学科				
南丹	総合学科	5 cl	180	4 cl	150
園部	普通科・京都国際科	4 cl	130	3 cl	100
	中高一貫(普通科)	1 cl	40	1 cl	40
須知	普通科・食品科学科	3 cl	100	2 cl	70
募集定員 小計 (a)		24 cl	860	19 cl	710
農芸	農業学科群	3 cl	110	3 cl	110
	うち口丹地域(b) [推計]				
計 (c=a+b)			925		775
当該地域の公立中3生数 (d)			1,337		1,121
生徒受入率(c/d)			69.2%		69.1%

# 平成27年度入学者選抜 口丹地域の府立高校入学者の状況 (出身中学校等の存する地域別)

## <全日制>

出身中学校等の存する地域	北桑田				亀岡				南丹		園部			農芸		須知		総計						
	普通		森林 リサーチ		普通		普通 (美工)		数理 科学		総合 学科		普通		京都 国際		農業 学科群		普通		食品 科学			
	総計に 対する 比率		総計に 対する 比率	総計に 対する 比率	総計に 対する 比率	総計に 対する 比率	総計に 対する 比率																	
京都市	1	2.1%	13	54.2%	1	0.4%	7	25.0%	3	8.8%							40	36.4%			2	5.9%	67	
乙訓地域			1	4.2%							1	0.6%					2	1.8%					4	
山城地域			1	4.2%			2	7.1%									7	6.4%				1	2.9%	11
口丹地域(周山中含む)	46	97.9%	7	29.2%	236	99.6%	18	64.3%	30	88.2%	177	98.3%	96	100.0%	29	96.7%	61	55.5%	40	100.0%	29	85.3%	769	
内 数	旧京北町	31	66.0%	6	25.0%						1	0.6%												38
	旧美山町	13	27.7%			1	0.4%			2	5.9%	2	1.1%			2	6.7%							20
	亀岡市	1	2.1%	1	4.2%	203	85.7%	13	46.4%	15	44.1%	144	80.0%	4	4.2%	11	36.7%	42	38.2%	2	5.0%	4	11.8%	440
	南丹市(旧美山町を除く)	1	2.1%			22	9.3%	3	10.7%	9	26.5%	21	11.7%	74	77.1%	9	30.0%	18	16.4%	2	5.0%	6	17.6%	165
京丹波町					10	4.2%	2	7.1%	4	11.8%	9	5.0%	18	18.8%	7	23.3%	1	0.9%	36	90.0%	19	55.9%	106	
中丹地域																								3
私学・特別支援学校・他府県			2	8.3%			1	3.6%	1	2.9%	2	1.1%												6
総計	47	100%	24	100%	237	100%	28	100%	34	100%	180	100%	96	100%	30	100%	110	100%	40	100%	34	100%	860	

## <定時制:分校>

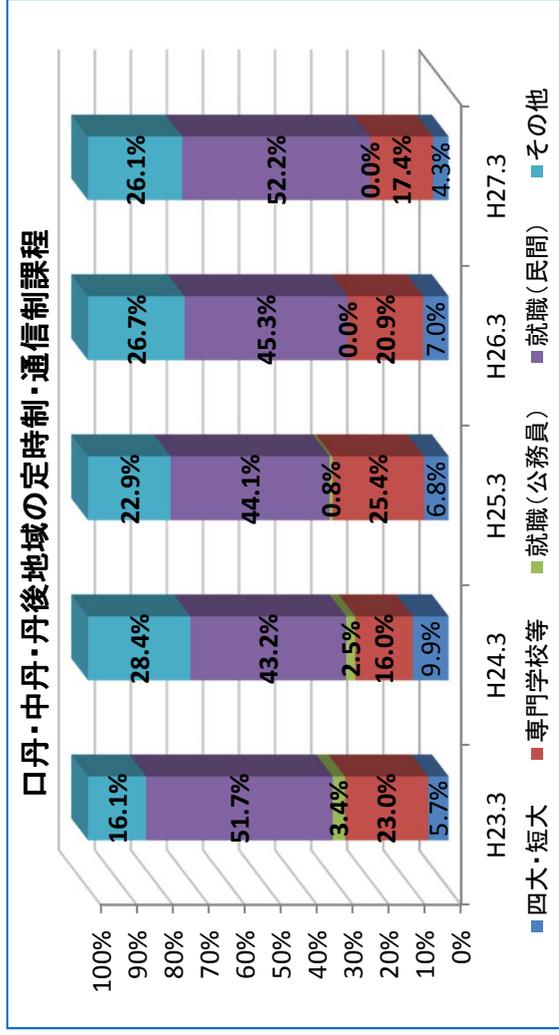
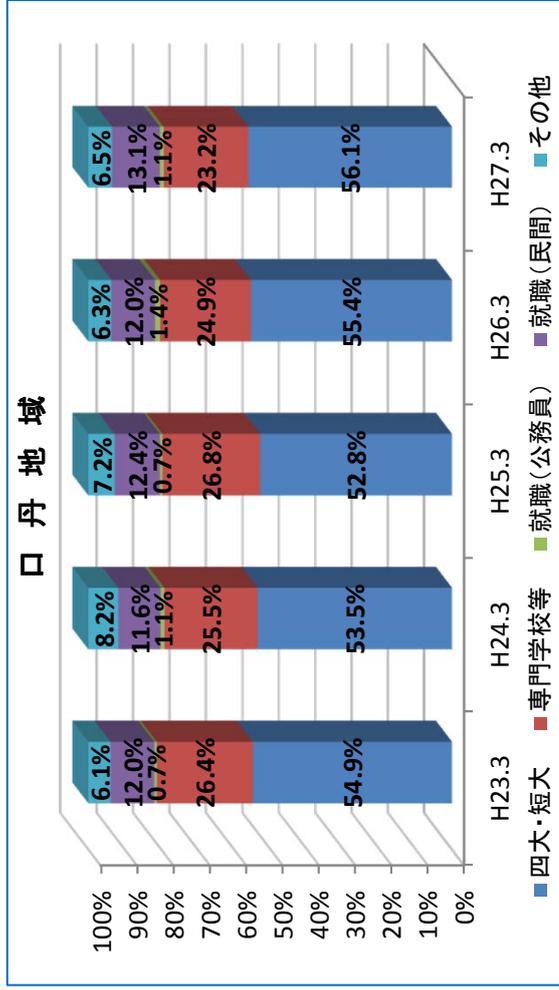
学校名	出身中学校の存する市町				亀岡市		南丹市(旧美山町)		京丹波町		総計
	京都市(旧京北町)	総計に 対する 比率	亀岡市	総計に 対する 比率	南丹市(旧美山町)	総計に 対する 比率	京丹波町	総計に 対する 比率			
北桑田(美山) [昼間]	農業	1 (1)	12.5%	2	25.0%	4 (0)	50.0%	1	12.5%	8	
	家政					1 (0)	50.0%	1	50.0%	2	
総計	1 (1)	10.0%	2	20.0%	5 (0)	50.0%	2	20.0%	10		

※ ( )内は内数

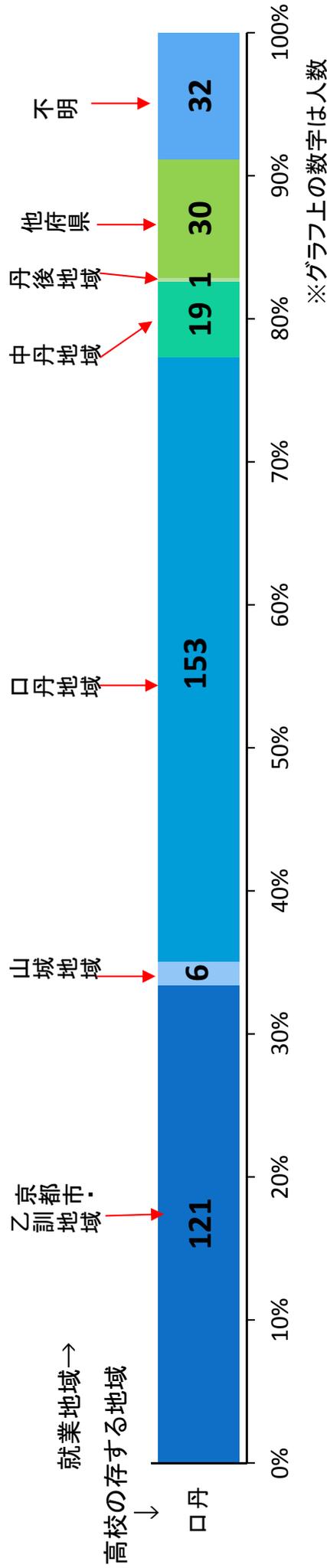
## 口丹地域における府立高校分校の状況

高校名	課程・学科	生徒数（5月1日現在）					生徒の様子	学校の取組	進路状況（卒業年度の3月末現在）					主な就職先等		
		年度	1年	2年	3年	4年			計	卒業年度	大学・短大	専修・各種学校	就職		その他	計
北桑田高校 美山分校	昼間定時制 農業科 家政科	H25	13	14	8	15	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級に在籍していた生徒が多いため、要支援の生徒が全体の7割を占める。</li> <li>中学校の時に不登校であった生徒もいるが、毎日登校している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の入学生より総合的な学習の時間において学び直しとソーシャルスキルの向上に取り組んでいる。</li> <li>就労支援として、アルバイトを奨励しており、全体では約6割が就労しているが、現在の4年生は12名の内8名が療育手帳をもっていることもある。</li> <li>現4年生の進路先については約半数の者がB型作業所を検討している。全確保や学習支援のために特別支援員（非常勤）が2名配置され対応している。</li> </ul>	H24 (H25.3)	0	7	3	1	11	地元就職がほとんどである。多いが、一部福祉関係にも就職している。
		H26	5	14	13	7	39			H25 (H26.3)	0	5	4	6	15	
		H27	10	5	12	12	39			H26 (H27.3)	1	1	3	2	7	

# 口丹地域の府立高校卒業生の進路実績の推移



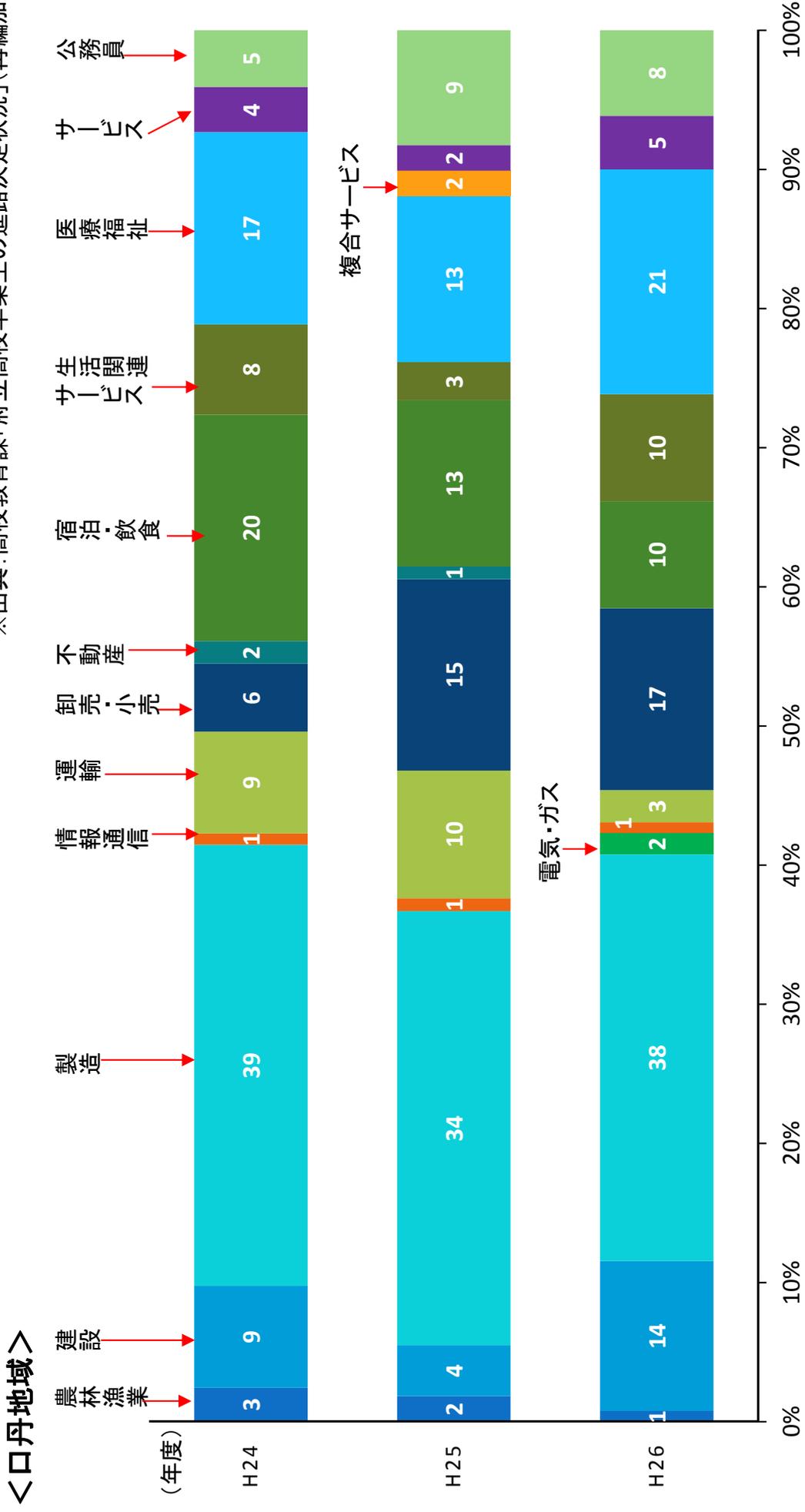
# 口丹地域の府立高校卒業生の就業地域 (平成24～26年度の計)



※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」(再編加工)

# 口丹地域の府立高校卒業生の職業別就職状況

※出典：高校教育課「府立高校卒業生の進路決定状況」(再編加工)



## 平成27年度 府立高校における部活動の状況(全日制)

平成27年5月1日現在 保健体育課・高校教育課調べ

1 学年 規模	学校名	全学級数	体育系				文化系			
			クラブ数	部員数	1クラブ あたりの 部員数	加入率	クラブ数	部員数	1クラブ あたりの 部員数	加入率
7 学級 以上	山城高校	28	17	766	45.1	67.7%	9	250	27.8	22.1%
	鳥羽高校	27	14	595	42.5	55.8%	19	323	17.0	30.3%
	北嵯峨高校	27	12	577	48.1	53.4%	17	249	14.6	23.0%
	桂高校	27	14	539	38.5	50.3%	16	311	19.4	29.0%
	洛西高校	27	15	522	34.8	48.7%	14	366	26.1	34.2%
	桃山高校	27	16	634	39.6	58.2%	10	283	28.3	26.0%
	南陽高校	27	11	554	50.4	53.0%	8	262	32.8	25.1%
	京都八幡高校	26	15	185	12.3	24.4%	12	161	13.4	21.3%
	田辺高校	26	16	331	20.7	37.0%	17	190	11.2	21.2%
	嵯峨野高校	24	14	549	39.2	55.5%	18	424	23.6	42.9%
	京都すばる高校	24	13	430	33.1	45.6%	9	428	47.6	45.3%
	城陽高校	24	11	304	27.6	32.8%	17	209	12.3	22.5%
	久御山高校	24	11	557	50.6	58.5%	6	114	19.0	12.0%
	亀岡高校	24	14	436	31.1	48.6%	14	405	28.9	45.2%
	綾部高校	24	12	418	34.8	58.1%	14	149	10.6	20.7%
	菟道高校	23	13	455	35.0	49.7%	11	241	21.9	26.3%
	西城陽高校	23	11	468	42.5	51.1%	9	284	31.6	31.0%
	西舞鶴高校	22	13	432	33.2	49.1%	20	371	18.6	42.2%
	洛北高校	21	14	554	39.6	66.0%	14	262	18.7	31.2%
	北稜高校	21	12	399	33.3	48.4%	9	189	21.0	22.9%
	洛東高校	21	13	268	20.6	34.1%	8	110	13.8	14.0%
	東稜高校	21	11	335	30.5	41.5%	9	133	14.8	16.5%
	東宇治高校	21	9	370	41.1	44.5%	8	166	20.8	20.0%
	木津高校	21	14	195	13.9	25.9%	12	226	18.8	30.0%
	平均	24.2	13.1	453.0	34.9		12.5	254.4	21.4	
	洛水高校	18	14	276	19.7	40.9%	10	117	11.7	17.3%
	乙訓高校	18	16	468	29.3	65.4%	8	80	10.0	11.2%
	城南菱創高校	18	12	370	30.8	51.5%	10	208	20.8	28.9%
	福知山高校	18	10	302	30.2	43.0%	13	257	19.8	36.6%
	峰山高校	18	13	327	25.2	47.3%	12	203	16.9	29.3%
	朱雀高校	17	15	183	12.2	29.8%	11	163	14.8	26.5%
	南丹高校	17	10	244	24.4	43.4%	8	57	7.1	10.1%
	宮津高校	17	10	357	35.7	55.6%	11	178	16.2	27.7%
	東舞鶴高校	16	14	247	17.6	44.4%	14	207	14.8	37.2%
	向陽高校	15	14	303	21.6	51.4%	13	143	11.0	24.3%
	西乙訓高校	15	12	263	21.9	45.3%	12	148	12.3	25.5%
	園部高校	15	11	216	19.6	41.7%	12	177	14.8	34.2%
	工業高校	15	9	215	23.9	40.0%	10	169	16.9	31.4%
	鴨沂高校	14	15	254	16.9	46.5%	14	194	13.9	35.5%
		平均	16.5	12.5	287.5	23.5		11.3	164.4	14.4
3 ・ 4 学級	網野高校	12	12	217	18.1	54.1%	8	123	15.4	30.7%
	加悦谷高校	11	8	202	25.3	57.1%	7	67	9.6	18.9%
	北桑田高校	9	10	141	14.1	63.2%	3	42	14.0	18.8%
	農芸高校	9	9	68	7.6	23.5%	2	7	3.5	2.4%
	須知高校	9	7	67	9.6	28.2%	4	35	8.8	14.7%
	大江高校	9	10	113	11.3	35.5%	9	109	12.1	34.3%
	海洋高校	9	9	271	30.1	93.1%	2	13	6.5	4.5%
	久美浜高校	9	8	112	14.0	45.9%	10	86	8.6	35.2%
		平均	9.6	9.1	148.9	16.2		5.6	60.3	9.8
2 学級	峰山高校弥栄分校	6	6	7	1.2	12.3%	4	17	4.3	29.8%

\*京都八幡高校と綾部高校は、本分校合同で部活動を行っているため、分校の人数を含んで記載している。

\*体育系のクラブについて、男女別で分かれている場合も1クラブとしてカウントしている。

(例:男子バスケットボール部と女子バスケットボール部=1クラブ)

## ■クラブ数と部員数（平均値）

1学年の規模	体育系		文化系	
	クラブ数	部員数	クラブ数	部員数
7学級以上校	13.1	34.9	12.5	21.4
5～6学級校	12.5	23.5	11.3	14.4
3～4学級校	9.1	16.2	5.6	9.8

○7学級以上規模校、5～6学級規模校は、3～4学級規模校に比べ、部活動の多様性がみられる。特に文化系で顕著である。

○1クラブあたりの部員数について、7学級以上規模校、5～6学級規模校は、3～4学級規模校に比べ、多くの部員数を確保している。

## ■1学年3学級規模の高校の運動部の状況

	北桑田高校		農芸高校		須知高校		大江高校		海洋高校		弥栄分校		久美浜高校		
	部員数	状況	部員数	状況	部員数	状況	部員数	状況	部員数	状況	部員数	状況	部員数	状況	
団体競技	男子バスケットボール	—	16	○	15	○	11	○	—	—	—	—	14	○	
	女子バスケットボール	5	△	—	—	5	△	—	—	—	—	—	0	×	
	男子バレーボール	14	△	—	—	—	—	—	24	○	—	—	—	—	
	女子バレーボール	11	○	—	—	5	▲	11	△	14	○	—	—	12	○
	サッカー	20	○	11	○	0	×	10	▲	17	△	—	—	12	△
	硬式野球	28	○	12	△	11	○	16	○	28	○	—	—	12	○
	女子ソフトボール	—	—	—	—	—	—	2	▲	—	—	—	—	—	—
	男子ホッケー	—	—	—	—	14	△	—	—	—	—	—	—	—	—
	女子ホッケー	—	—	—	—	9	▲	—	—	—	—	—	—	—	—
	登山	14	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
カッター	—	—	—	—	—	—	—	—	22	○	—	—	—	—	

○	試合に必要な部員数を満たしている
△	3年生引退後は、試合に必要な部員数を満たさない
▲	試合に必要な部員数を満たしていない
×	部員がいない
—	クラブがない

	北桑田高校		農芸高校		須知高校		大江高校		海洋高校		弥栄分校		久美浜高校		
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
個人で大会出場可	陸上競技	7	4	3	1	1	1	7	3	—	—	1	1	2	9
	卓球	8	—	4	—	1	—	7	7	—	—	1	3	—	—
	ソフトテニス	—	4	—	—	—	—	9	9	—	—	—	—	15	8
	テニス	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	バドミントン	—	—	1	3	—	—	5	1	30	6	—	—	—	—
	剣道	4	3	—	—	3	2	—	—	—	—	—	—	1	3
	柔道	—	—	6	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	弓道	—	—	—	—	—	—	9	6	—	—	—	—	—	—
	自転車	17	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	パワーリフティング	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ウェイトリフティング	—	—	—	—	—	—	—	—	25	11	—	—	—	—
	レスリング	—	—	—	—	—	—	—	—	15	5	—	—	—	—
	ヨット	—	—	—	—	—	—	—	—	27	3	—	—	—	—
	ボート	—	—	—	—	—	—	—	—	38	6	—	—	—	—
カヌー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	8	
部員数計	108	33	62	6	45	22	74	39	225	46	2	5	72	40	
	141		68		67		113		271		7		112		

※部員数はプレイヤーのみ（マネージャーは含まない）

### <団体競技>

○部員数不足により活動が制限される場合がある。

- ・年度当初は公式戦出場に必要な人数を確保できていても、3年生引退後は確保できない部が見受けられる。
- ・公式戦出場に必要な部員数を満たしていても、十分な活動ができていない部が見受けられる。（実践練習には、試合出場人数の1.5倍から2倍程度の部員がいることが望ましい。）

## 口丹地域の府立高校（全日制）の部活動における主な活躍 【全国大会出場等】

### ■体育系

学校名	年度	全国高校総合体育大会等	国民体育大会
北桑田高校	H26	●自転車(男)(1位) ▲自転車(男)(1・2・3・4位) ▲自転車(女)(2位)	●自転車(男)(8位) ▲自転車(男)(3・3・3・6位)
	H25	●自転車(男)(6位) ▲自転車(男)(1・5・6・8位) ▲自転車(女)(4位)	△自転車(男)
	H24	▲自転車(男)(4・7位)	▲自転車(男)(5位)
南丹高校	H26	○体操(女)	○体操(女)
	H25	△体操(女)	▲体操(女)(4位)
	H24	△体操(女)	▲体操(女)(7位)
園部高校	H26	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)
	H25	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)
	H24	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)	△ライフル射撃(男) △ライフル射撃(女)
須知高校	H26	●ホッケー(男)(5位)	
	H25		○ホッケー(女)

●団体全国入賞 ▲個人全国入賞 ○団体全国出場 △個人全国出場

### ■文化系

学校名	年度	全国高校総合文化祭	その他の全国大会
亀岡高校	H26	△美術	
	H25	△美術 △写真	
	H24	△美術	
南丹高校	H25		○科学サイエンス(ロボカップジュニア ジャパン日本大会) △簿記(全国高等学校簿記コンクール)
	H24		○簿記(全国高等学校簿記コンクール)
園部高校	H26	●吟詠剣詩舞(文化連盟賞)	
	H25	●吟詠剣詩舞(文化連盟賞)	
	H24	●吟詠剣詩舞(文化連盟賞)	
農芸高校	H24		●畜産(全国ブラック&ホワイト 第3位) ●畜産(日本学校農業クラブ連盟全国 大会 優秀賞) ●環境(日本学校農業クラブ連盟全国 大会 優秀賞) ○造園(技能五輪全国大会)

●団体全国入賞 ▲個人全国入賞 ○団体全国出演又は出展 △個人全国出演又は出展

## 口丹地域の府立高校における連携活動・体験活動の実施状況(概要)

出典:高校教育課調べ(教育委員会HP「Myスクールナビ京都」に掲載)

※平成26年度の実績又は平成27年度の予定から各項目2つ以内で掲載

学校名	連携先等	概要
北桑田高校	小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>口丹地域の小・中学校に森林リサーチ科生徒が訪問あるいは小・中学生が来校し、岩盤緑化プロジェクトに用いている高分子吸収性ポリマーを使った実験や木工作品の製作を行う。</li> <li>年1回、周山中学校区内小学校と山菜を使った合同調理実習・試食会を行う。</li> </ul>
	地域・企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府採石場協同組合と岩盤緑化現地試験区を活用した協同調査を行う。</li> <li>高分子吸水性ポリマーのメカニズムについて、アイ・イー・ジェー株式会社から開発者を招き講演会を行う。</li> </ul>
	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林リサーチ科2年生が西安(中国)を訪問し、現地大学生らと環境について交流したり、世界遺産等について見聞を広める。</li> <li>普通科2年生がグアムを訪問し、現地高校生らとの交流を通して、グローバルコミュニケーションへの意欲を高揚させるとともに、ダイナミックな自然に触れる。</li> </ul>
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>北桑田地域で開催される各イベントに高校生がスタッフとして参加、国政選挙等の選挙管理委員会補助</li> </ul>
	インターンシップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>北桑田地域高齢者福祉施設、保育所、地元企業と連携し、職場体験を行う。</li> </ul>
北桑田高校 美山分校	小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小学校に体育科教師が訪問し、陸上教室を行う。</li> <li>分校にて家政科生徒が地域の小学生と共にケーキづくり等の調理実習を行う。</li> </ul>
	地域・企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>美山在住の職人を招き、パン作りや農業機械実習を行う。</li> </ul>
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みに小学生対象として、家政クラブがお菓子作りの体験実習を行う。</li> </ul>
亀岡高校	大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>【京都大学】 数理科学科の1年生全員が、研究室を訪問し、実験を行う。</li> <li>【成安造形大学・京都嵯峨芸術大学】 美術・工芸専攻の1年生全員が、教授の指導を受け、立体制作を行う。</li> </ul>
	小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>【曾我部小】 美術・工芸専攻の1年生が訪問し、図工の授業で木版画の作成支援を行った。</li> <li>【大井小】 美術・工芸専攻の1年生が訪問し、並河駅地下道の壁画の共同製作を行った。</li> </ul>
	地域・企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「亀岡光秀まつり」において、光秀公武者行列イベントに参加し、吹奏楽部が演奏を行う。</li> </ul>
	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>数理科学科2年生が研修旅行でグアムを訪問し、現地高校生や大学生と交流する。</li> </ul>
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1回、亀岡駅周辺の清掃活動を保健委員・運動部員等で実施</li> <li>生徒会を中心に、亀岡市民文化祭の運営の補助や口丹地域の高校生交流会に参加</li> </ul>
南丹高校	大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>【京都学園大学】 1年特進クラスの生徒が環境バイオ学部の研究室で、生命科学の実験実習を行う。</li> <li>【京都伝統工芸大学校】 2年で京都文化学入門を選択している生徒が訪問し、陶芸の成形と絵付けの実習を行う。</li> </ul>
	小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>【亀岡市立小学校】 1年特進クラスの生徒が小学校を訪問し、環境・エネルギー教育の実験教室で、色素増感型太陽電池、自転車発電等の実験を交えて教える。京都大学の教員からロボットのしくみとプログラミングについて学んだ生徒が小学校を訪問し、小学生にロボットのことを教える。</li> </ul>
	地域・企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業(製造業)の社長又は広報担当者の講演(テクニカル工学系列の生徒を対象)や老人ホーム「亀岡園」の副園長の講演及び「亀岡園」での体験実習を行う。</li> <li>商業系の学校設定科目で、パンをつくり販売している地元企業と連携して、新しいアイデアのパンを考える。</li> </ul>
	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>マレーシア海外研修を選択した生徒が現地高校を訪問し、交流会を行う。また、宿泊はしないが、ホームビジットとして一日、現地の家庭で交流体験を行う。</li> </ul>
	ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎朝、体育系部活動部員が校舎周辺と通学路の一部の清掃を行い、学期に1回はクリーン作戦と銘打って学校から最寄の駅までの通学路の清掃を行う。</li> <li>吹奏楽部が地域の催しや作業所の祭等に出向き、演奏を行っている。</li> </ul>

学校名	連携先等	概要
園部高校	大学	【京都大学・京都工芸繊維大学・京都学園大学・京都教育大学】 1年化学基礎において課題研究を行う。 【京都工芸繊維大学・京都学園大学・京都産業大学】 1年国際理解の授業を共同で実施
	小・中学校	【胡麻郷小・殿田小】 京都国際科2年生が小学校を訪問し児童と交流しながら英語を教える。
	国際交流	・希望者を募りオーストラリアを訪問し、現地のセント・フランシス校やキングス高校の授業に参加したりホームステイを体験 ・希望者を募りアメリカを訪問し、現地のジェファーソン高校で英語等の様々な授業や交流に参加したり、ホームステイを体験
	ボランティア	・年2回、全ての部活動部員と有志の一般生徒が地域清掃に取り組む。 ・学校祭期間中に、ボランティア部が京都府豪雨災害救援バザーを行う。
農芸高校	大学	【京都学園大学】大学において学習会を実施するとともにバイオ実験を行う。
	小・中学校	・【安詳小】 農業クラブボランティアで小学校を訪問し、草花の植え込みについて指導 ・シュレッターダストのリサイクルで地域の小学校と環境教育を連携して実施
	地域・企業	・農場生産物を利用した商品の開発を地域の企業と連携して実施
	国際交流	・希望者を募り台湾を訪問し、現地高校との交流会等を体験
	ボランティア	・春と秋に地域の施設や駅などの飾花ボランティアの実施
	インターンシップ	・地元企業を7日間訪問し、職業体験を行う。
須知高校	大学	【京都大学】 大学院生と穀物加工専攻16名、地元小学生が小豆を栽培してあんこを製造し、交流した。 【京都教育大学】農業を専攻する大学生に対し農場実習を3年生と行った。
	小・中学校	・【東輝中】2年生約240名を1日3班に分け受入れ学校説明を行った。 ・地域の幼小中学生を受け入れ、農場体験や花苗の栽培指導を行った。
	地域・企業	・公園管理コースの生徒が質志鍾乳洞公園の整備とパンフレット作成により、京丹波町観光協会に協力した。 ・栗ソフトクリームの商品開発を京丹波くり生産組合等、各種団体と協同して行った。
	国際交流	・希望者を募り台南市(台湾)を訪問し、現地農業高校との交流会や台湾文化を体験 ・京丹波町とフォークスベリー(オーストラリア)の中高生との相互の国際文化交流
	ボランティア	・福島復興支援「絆」プロジェクト(京丹波町スポ少の子どもたちと作ったジャガイモを双葉町に届ける活動)
	インターンシップ	・地元の「国保京丹波町病院」で1日看護体験を実施 ・地元「社会福祉法人山彦会」で2日間の介護体験等を実施

## 学級規模による教員配置・教育環境等の相違

### ◆モデル校の設定

- ・全日制の普通科単独校とする。
- ・1学年5学級の学校（5学級校）と1学年3学級の学校（3学級校）で比較（基礎定数ベース）
- ・授業時数は、32h+32h+30h、教員の標準的な持ち時間数は17時間とする。

### ■教員配置の比較

	教科別教員数								計	分掌別教員数						
	国語	地公	数学	理科	保体	芸術	家庭	英語		総務	教務	生徒	進路	図書	保健	学年
5学級	5	4	7	5	4	2	1	7	35	3	4	4	4	1	1	18
3学級	4	3	4	3	3	1	0	5	23	3	3	3	3	1	1	9

※教職員数については、「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」により収容定員をベースに定められている。

### ■教育環境等の比較

学級数	5学級	3学級
教員配置	校務分掌の適正配置が可能。多様な部活動に顧問の複数配置が可能	校務分掌の配置で、学年部長が担任を兼務する必要がある。部活動の顧問が1名になることもある。
クラス編成	進路希望や学力に応じたクラス編成や目標を絞ったクラス経営が可能	進路希望や学力がクラス割と合わなくなる場合もあり、多様な生徒に対応したクラス経営が求められる。
教育課程・時間割の編成	特色ある科目の設置や希望進路実現に向けた教育課程、時間割の編成が行いやすい。	芸術科、家庭科で講師が必要。選択科目を教科の全員が担当するため、時間割編成を工夫する。
学校行事	多様な行事を計画・運営できる。	行事を計画・運営する分掌担当者が少なくなる。分掌統合や柔軟な業務分担で対応することが求められる。
進路保障の取組	放課後、土曜日の補習・進路指導担当者と部活動指導者を分けることで取組の充実が図れる。	放課後、土曜日の補習・進路指導は、部活動の指導と重なることが生じるため調整が必要となる。
数学科、英語科、 （1年習熟度別・ 少人数講座）	生徒の進路希望や学力に対応した講座展開が可能 標準：3学級5講座展開 発展：2学級3講座展開	教員に加えて非常勤講師が確保できれば、少人数による習熟度別授業が可能 全3学級を5講座展開
理科 地歴・公民科	教員は専門科目の担当が可能。国公立大学、私立大学などの多様な進路希望に対応できる。	教員は専門以外の科目も担当するため、社会人講師の活用やICT機器を活用した取組など工夫が必要となる。
体育科	体育系部活動や学校行事では中心的役割が期待できる。	体育系部活動の指導者が限られ、外部指導者が必要となる。
芸術科、家庭科	文化系の部活動や行事での中心的役割が期待できる。	非常勤講師が担当する場合、部活動や施設管理上の課題に対応する必要がある。